

----- さやま・文化の息吹 -----

## 能楽こども教室 始末記 --- 水謡会 ---

市内小学5年生～中学3年生までの全校生徒を対象に、希望者を募り始めようとしたが、予想に反し、希望者皆無であった。親戚、知人に呼びかけ、何とか開校初日までに小学生2名、中学生3名の全18コースの始まりとなった。

3回目コース、東京国立能楽堂での「小中学生のための能・狂言」鑑賞会までは、全員出席と滑り出し好調。夏休み後半となるとクラブ活動に忙しい毎日とか、欠席がちとなり、最終回までをクリア1名という結果に終わった。

土曜休校が実施され「ゆとり教育」が提唱されても、生徒は、土曜休校日は結局クラブ活動に汗を流してしまう。これも良いことではあるが・・・「ゆとり」を、もう少し別な面で考えてみては?と思う。

『この花、なかに風露のかんばせあり』(木喰上人)の詩ではないが、花のなかを、(のぞく・匂いを探る)の余裕、想い、・・・情操こそ「ゆとり」ではないだろうか。

親から子・孫へと伝えるものが少なくなった今こそ、伝統的なもの、五感を揺るがすもの、共感を共有するものを見つめ直すことが、我々に必要なことではなかろうか?

謡ってなに?仕舞って?能って? 歌、唄のこと、獅子舞なら知っている、能ってなにか分からぬ、ねむくなる。これが多くの人の能楽についての理解と思う。

我々が幼き頃、結婚式は各家庭で行われ「四海波静かに・・・」「高砂やこの浦舟・・」などと、高砂の謡が式のリード役を果たしたものだった。なにも昔に戻すことはない。昔を知ろうとすること、伝えること、が伝統を守るに繋がる。

能楽は日本のオペラです。ドラマの背景、その謡の典拠となっている古典(古事記・日本書紀・源氏、平家物語・・)歴史や地理、美しい詞章、言葉のふくらみ、メロディーと舞が一体となって人間の喜び、悲しみ、怒り、恥じらい、絶望・・・情念を思い起こさせる。

バレンタインデーに恋人に愛を告白し、贈り物をするが、謡の世界では、もっと古くから「班女」では、恋人と扇をとりかわし、人間の心をじっくりと表現した美しい謡がある。

この「能楽こども教室」が将来見直されるように大人に「ゆとり」を知ってもらいたい。このため6月より、はじめての方を対象に「謡曲入門講座」がはじまります。

おわりにこの場を借り、「能楽こども教室」開催にご尽力いただいた、市教育委員会・水野公民館の方々に、あつくお礼と感謝を申しあげます。

### 狭山市文化団体連合会 加盟団体(4月末現在 36団体・順不同)

狭山市民劇団ステップ	狭山オカリナクラブ	ハワイアンパラダイス
朗読研究狭山会	梅后流江戸芸かっぽれ狭山道場	劇団白(ホワイト)るうぶ
狭山市民謡協会	狭山ビッグバンドピラミッド	狭山市華道連盟
狭山市吟詠連盟	端唄 根岸禮の会	狭山市写真作家協会
狭山市俳句連盟	狭山市日本舞踊連盟	狭山香道俱楽部
日本詩吟学院岳風会・雪吟会	狭山少年少女合唱団	本田技研(株)むさしの会写真部
狭山市民俗芸能祭囃子連合会	ギターサークル弦	書道 芳竹会
狭山市美術家協会	うるおいきもの文化普及会	童句振興協会
ティーンズ・クラブ	狭山市民講師協議会	狭山市民美術協会
花咲会(エンジョイダンス)	狂言入間川を観る会	さやま映画クラブ
狭山市三曲連盟	狭山コミュニティ放送研究会	狭山放送劇団ヴォーチェの会
狭山市新舞踊連盟	狭山市茶道連盟	サヤマシティカルチャーセンター